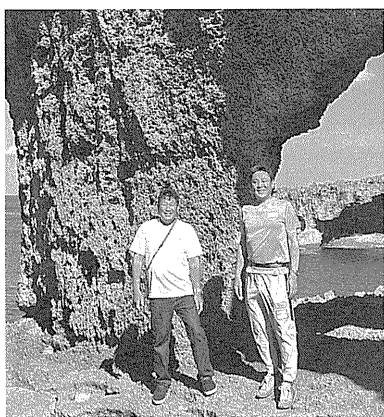


【高松北・和泉憲記】

先日、鹿児島県徳之島にこの沖合で戦死した祖父に弟と2人で会いに行ってきた。

徳之島の海を見る事は祖母の夢でもあり、

私が成人した頃に何度か誘ってみたが祖母も高齢で長旅はできないと言いながら帰らぬ人となってしまうた。父は長年遺族会の世話人をしており、何度



兄弟の絆を深めるよい旅となったと和泉さん（左）

忘れえぬ思い出

高松北支部

和泉 憲さん

徳之島の沖合で戦死した祖父

ばと後悔が残っていた。

1年前、弟家族がNHKで「富山丸」の特集をしているのをたまに観ていたところ、慰霊碑に祖父の名前が刻まれていたのを見つけた。何度もスローで確認し、画面越しに「和泉…」の名前を見

たら徳之島への思いが。向かう。海が見える丘のひびき」があり、楕円形の穴から見える海が富山丸の沈没地点だそう。祖母もここに

きた。祖母もここに

きた。祖母もここに

きた。祖母もここに

戦争反対へ強い想い

兄弟で手を合わせに現地へ

湧き上がり、兄弟で会いに行こうとなった。

の犠牲者のお名前が刻まれており、兄弟2人で祖父の名前を見つけた時には目頭が熱くなった。

思うと無理してでも連れてこなかった自分に悔しさが残る。

祖母の遺影を祖父が亡くなった海に向け、しばらく兄弟2人と祖母で静かな時間を過ごす

日頃から徳之島入りしていた弟に空港まで迎えてくれた。

慰霊碑の後ろに香川の石「サヌカイト」の

母で静かな時間を過ごす

めるよい旅となった。